



㊦最優秀賞を受賞した泉台自治会の福井善明会長（左）と平山裕美副会長㊦毎日新聞社賞を受賞した西真美自治会のメンバー＝いずれも河合町のまほろばホールで



「西真美だより」が3年連続で受賞。「内容

2位に当たる毎日新聞社賞は、香芝市の西真美自治会が発行する

「西真美だより」が3年連続で受賞。「内容

2位に当たる毎日新聞社賞は、香芝市の西真美自治会が発行する

「西真美だより」が3年連続で受賞。「内容

2位に当たる毎日新聞社賞は、香芝市の西真美自治会が発行する

「西真美だより」が3年連続で受賞。「内容

なら自治会ニュースコン表彰式

「泉台ニュース」が最優秀

自治会などが発行するニュースや新聞の内容を競う「なら自治会ニュースコンクール2018」（同実行委主催、毎日新聞奈良支局など後援）の表彰式が9日、河合町のまほろばホールであった。8市6町の28団体から応募があり、最優秀賞には河合町の泉台自治会が50年間発行してきた「泉台ニュース」が選ばれた。

コンクールは東日本大震災を契機に11年から始まった。当時、安否確認や情報共有に紙媒体が重要な役割を果たしたことから、自治会が作る新聞などを通

じて地域の連帯意識を高めるのが狙い。紙媒体を年2回以上発行していることなどを応募条件に、記事の内容やレイアウト、見出しなどが審査された。

表彰式では、元毎日新聞論説委員の津野恭平・審査委員長が「優秀賞と遜色のないニュースが前年度にも増して多かった。ニュースの発行と合わせてウェブやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で配信している所が増えたことも喜ばしい」と語り、受賞団体のニュースや新聞を順に講評した。

2位に当たる毎日新聞社賞は、香芝市の西真美自治会が発行する「西真美だより」が3年連続で受賞。「内容

「質量ともに充実」高評価

最優秀賞に選ばれた「泉台ニュース」は1969年に創刊。現在は約500部発行し、会員に全戸配布している。講評では「モノクロ紙面で一見地味だが、写真が鮮明で読みやすく、ニュースは質量ともに充実」などと高評価を受けた。

泉台自治会の福井善明会長（66）は「50年ずっと手作りで、できるだけ情報を詳しくきめ細かに載せよう」と心がけている。作り手は毎

（52）は「隔月だとタイムリーさに欠ける欠点がある。瓦版や壁新聞を出している自治会もあり、そういうものを不定期で発行するのも一つの案だと感じた」と話してい

年変わるが、同じコンセプトで地道にやってきたことが評価されたのかなと思う」と受け止めた。従来は毎月発行していたが、費用や人手を考慮して今年度から隔月発行に変えた。平山裕美副会長

他の受賞団体は次の通り。

- 【優秀賞】香芝市・旭ヶ丘（香芝市・香芝・旭ヶ丘ニュータウン自治会）▽富雄だより（奈良市・富雄地区自治連合会）▽三輪区コミュニティ新聞 馬酔木（桜井市・三輪区自治会）【審査委員奨励賞】なんごう瓦版（御所市・南郷自治会）▽香芝市・関屋近鉄住宅地自治会▽西辻区広報・西辻区開発だより（葛城市・葛城市西辻区）▽自治会壁新聞（生駒市・ローレルコート秋の台自治会）▽広報 平岡（葛城市・平岡）▽いきいき平城西（奈良市・平城西地区自治連合会）